



家族で楽しめる総合レジャー施設に 雨の日ものじりこぴあで遊ぼう 複合型遊具をリニューアル



3 月、ものじりこぴあに雨天時も遊ぶことができる全天候型遊具を整備しました。遊具は平成 4 年開業時から親しまれてきたものをリニューアル。同 29 日には、記念式典が開かれ、市内外から 2000 人を超える家族連れが来場。オープンを待ちわびた子どもたちは、テープカットと同時に遊具に向かって一斉に走り出し、歓声をあげながら新しい遊具を堪能していました。

一時は 5000 人を超える噴煙も 7 年ぶりに噴火した新燃岳 市内でも広範囲に降灰を確認



6 月 22 日、新燃岳が 7 年ぶりに噴火しました。翌 23 日には噴火警戒レベルが入山規制を伴う「3」へ引き上げられ、7 月 4 日には県内で 54 年ぶりとなる二酸化硫黄注意報が発令。市は公式 LINE や防災ラジオなどで情報を発信し、注意を呼びかけました。その後、火山活動は徐々に沈静化傾向となり、10 月 17 日には火口周辺規制の「2」へ引き下げられました。

カヌー・ローイング競技の熱戦舞台 観光と競技の両立目指し 須木・小野湖の会場整備進む



令和 9 年の宮崎国スポでカヌー・ローイング会場となる須木・小野湖の整備を進めています。旧「かるかや」周辺に艇の準備場や観覧席などを新設し、同 9 年 3 月の完成を目指すもので、単なる競技会場にとどまらず、大会後も合宿誘致や水上アクティビティの観光拠点としての活用を目指します。また、市民が水辺に親しめる環境を整え、地域活性化とスポーツ振興の両立を図ります。

「初優勝は宮崎への恩返しの始まり」 脇元華選手がゴルフツアー初 V 副賞を子ども支援のために寄付

小林市出身のプロゴルファー、脇元華選手（GMO インターネットグループ所属）が 11 月の伊藤園レディースでツアー初優勝を果たしました。脇元選手は細野小・中学校出身の 28 歳。一昨年前には両校児童生徒を対象に講演を行うなど、地元での活動にも精力的に取り組んでいます。

プロ 8 年目で初優勝を遂げ、「長い時間はかかったが、念願の初優勝を皆さまに報告することができた」と笑顔で話す脇元選手。12 月には同ツアーで獲得した副賞の米（600 俵）と飲料（1080 本）を、県内の子どもを支援する団体と小林市にそれぞれ寄贈しました。脇元選手は「私もひとり親家庭で育ち、どんな時も支えてくれた家族のおかげで夢をあきらめずに続けてこられた。今度は私自身が子どもたちの背中をそっと押せる存在でありたい」と寄付への想いを話しました。



▼今回の寄付に対するメッセージを脇元華選手の公式 Instagram で見ることができます



①腰に痛みを抱えながらも悲願の初優勝を飾った脇元選手
②贈呈式には、脇元選手に代わり、父・信幸さんら家族が出席

新愛称は「ひいらぎスポーツパークこばやし」 ひいらぎホールディングス(株)が 総合運動公園の命名権を取得



11 月、小林総合運動公園の新愛称が「ひいらぎスポーツパークこばやし」に決定しました。命名権を獲得したのはひいらぎホールディングス株式会社（柊崎庄二社長）。同公園は、市の健幸のまちづくりの中核として複合体育館の整備も進む、市民のスポーツと憩いの拠点です。愛称は来年 4 月から使用を始め、同公園内の各施設に「ひいらぎ」の名称が付けられます。

02	市政の動きトピックス ／ 2025 年を振り返る
04	新春のごあいさつ
06	PhotoReport こばやし秋まつり
08	PhotoReport こばやし 駅伝競走大会
10	こばやし Topics
13	Pick Up Information まちづくり市民アンケート結果報告
14	おしらせ
15	ロボートのコラム／ KOBASPONEWS
16	教育委員会からのお知らせ ／きずな協働体通信
18	手話で話そう！ ／健幸のまちづくり拠点施設整備つうしん ／元気の知恵袋
19	図書館からのお知らせ／こばまち便り
20	くらしのカレンダー
22	Instagram& 広報こばやし／文化の足跡
23	心の花びら／ SUKUSUKU

今月の表紙

ぺったんこ！幸せをつく新春の餅つき



表紙は、認定こども園「太陽の子幼稚園」の子どもたち。「よいしょ！」の掛け声とともに、小さな体で大きなきねを一生懸命に振り上げ、餅つきに挑戦しました。子どもたちのはじける笑顔のように、明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますように。